

啓明学院中学校・高等学校  
生徒・保護者の皆様へ

啓明学院中学校・高等学校

## 1月8日～14日「思いやりウィーク」の学校生活ガイドライン

- ① 1月8日～14日までを「思いやりウィーク」とし、互いに配慮し合う思いを一層強め、安心・安全な学校生活への意識を高めます。
- ② 誰もが新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者となる可能性があります。どのようなときにも、啓明生らしく神様から与えられた仲間や家族を大切にして、キリスト教の精神に根ざした温かく思いやりのある学校生活を目指します。
- ③ 生徒・教職員全員で感染症の拡大防止への意識を高めます。学内はもとより、地域や公共交通機関・通学路においても社会の一員として、積極的に感染症の拡大防止に努めます。
- ④ 身のまわりの環境を清潔に保ち、啓明生らしく健康で文化的な生活を心掛けます。

※ 国・兵庫県対処方針の変更や感染状況の変化により、教育活動の内容が変わる場合があります。

※ 体調等に不安があり、登校を見合わせる場合は、必ず担任に連絡してください。

※ 急な体調の変化に備えて、必ず保護者と連絡が取れるようにしてください。

### ☆「思いやりウィーク」の具体的な取り組み

#### 1. 日々の祈り

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために尽力されている医療従事者・保健所等の方々、感染症により苦しみの中にあるの方々、感染症の拡大に不安を覚えている方々のことも覚えて、日々の祈りに取り組みましょう。

#### 2. 短縮授業の実施

- (1) 12㊦、13㊦、14㊦は、30分×6限の授業を行います。（授業終了12時40分）
- (2) 昼食は必要ありません。
- (3) 認められた活動以外、放課後に残ることはできません。

#### 3. クラブ活動の自粛

- (1) クラブ活動の自粛期間は1月1日～20日です。
- (2) 公式戦・公式戦に伴う練習以外、クラブ活動は行いません。

## ☆引き続き継続する感染症の拡大防止対策

### 1. 啓明学院の感染防止対策について

① 感染源を断つ

② 感染経路を断つ

③ 健康的な生活をおくる

+

④ 集団感染のリスクを減らす

#### ① 感染源を断つ

(1) 発熱等の風邪の症状や、体調が良くない場合は登校を見合わせる。

※ 出席停止扱いとする。

※ 家族に同様の症状がある場合も登校を見合わせる

(2) 登校時の健康状態を把握するために、検温結果・健康状態を記入した「健康状態管理シート」を必ず持参する。

#### ② 感染経路を断つ（飛沫感染・接触感染を断つ）

(1) 手洗いの徹底（手指消毒は手洗いができない場合に行う）

◆ 水と石けんで丁寧（30秒程度）にこまめに手洗いをする。

◆ 手を拭くタオル・ハンカチ等は個人の物を使用し、貸し借りは絶対しない。

◆ 手洗いの6つのタイミング+One

① 外から教室に入るとき ② 咳・クシャミ、鼻をかんだとき ③ 食事の前後

④ 掃除の前後 ⑤ トイレの前後 ⑥ 共有のものを触ったとき ⑦ 部活の前後

(2) 咳エチケットの徹底

◆ マスクの着用を徹底する。

☆ 教室やトイレなど生徒等が利用する場所で、特に多くの生徒が触れる箇所は、下校後に消毒をします。その他の箇所については適宜、消毒をします。

#### ③ 健康的な生活をおくる

(1) 免疫力を高めるために、十分な睡眠やバランスの取れた食事を心掛ける。

(2) 適切で適度な運動を行う工夫をし、感染防止の観点からも妙法寺からの徒歩通学を心掛ける。

#### ④ 学校での集団感染のリスクを減らす（3つの密の回避）

(1) 換気の徹底（密閉の回避）

◆ 教室の窓・扉、廊下の窓を一部解放して授業を行う。

☆ 天候によって窓などを開放できない場合は、適切に対応します。

(2) 身体的距離の確保（密集の回避）

◆ 人との間隔をできる限り2m（場合によっては1m）空けるように心掛ける。

(3) マスクの着用（密接場面への対応）

◆ 近距離での会話や発声などに備えて、マスクを必ず着用する。

### 2. 学校生活（再確認）

#### ① 必ず持参・着用するもの

(1) 登下校も含めてマスク着用（マスクを入れる清潔なビニール袋も持参）

(2) 健康状態管理シート」持参

(3) 手洗い徹底のためのタオル・ハンカチ等持参

(4) 携帯用ゴミ袋（レジ袋など）持参

- ◇ マイボトル（大きめの水筒）・除菌シートの持参を推奨します。
- ◇ 体育のある日は、体操服をランドリーバッグ（ビニール袋）に入れましょう。

## ② 登校前

- (1) 毎朝、自宅で検温し、健康状態とともに、「健康状態管理シート」に記入し、学校に持参しましょう。
- (2) 発熱等の風邪の症状や、体調が良くない場合は登校せず、自宅で休養しましょう。

## ③ 登下校中

- (1) 公共交通機関では、つり革や手すりなどを触る場合もあるので、手を顔に近づけないようにし、登校したら教室に入る前に必ず手洗い（手指消毒）をしましょう。
- (2) 感染防止の観点からも妙法寺からの徒歩通学を心掛けましょう。広がらず、おしゃべりをせず、啓明生らしく登校しましょう。
- (3) 昇降口が混雑している場合は、少し離れたところで待つようにしましょう。
- (4) 帰宅後、必ず手洗い（手指消毒）をしましょう。

## ④ 学校生活

どれだけ感染症対策を講じてもお感染のリスクが高い学習活動があります。全てが今まで通りに行えない場合もあります。啓明学院に集う全ての人たちで協力・工夫をして、この状況を乗り越えていきます。

### 〈飛沫感染・接触感染に関すること〉

- (1) 登校したら教室に入る前に必ず手洗い（手指消毒）をしましょう。
- (2) 休み時間などを利用し、こまめな手洗い（手指消毒）を心掛けましょう。
- (3) 教室では、自分の机・椅子以外のものに触れないように心掛けましょう。
- (4) マスクを外すときは、ゴムやひもをつまんで外し、表面には触れず、内側を折りたたんで清潔なビニール袋に入れるようにしましょう。

※ マスクを机の上等に直接置かないでください。

- (5) 友達との物の共有や貸し借りは絶対にやめましょう。

※ 特にタオル、ペットボトル、水筒のコップなどの共有・貸し借りは厳禁です。

- (6) マスクを外しているときや、近距離での会話はやめましょう。

◇ 飛沫感染防止のため、トイレのハンドドライヤーは使用できません。

◇ 接触感染防止のため、ウォータークーラーはマイボトルへの補充のみ使用できます。

### 〈3つの密の回避に関すること〉

- (7) 混雑した場所を避けましょう。トイレの前、事務室の前、廊下などが混雑している場合は、少し離れたところで待つようにしましょう。
- (8) トイレは密閉空間になります。混雑しているときは中に入らず、廊下に並んで待つようにしましょう。

### 〈食事に関すること〉

- (9) 昼食は、友達との団らんのひと時であり、楽しみな時間でもありますが、食事中はマスクを外すことになるので、向かい合わずに教室・食堂で食べるようにしましょう。昼食は、①自宅から弁当を持参するか、②最寄りの駅までに購入するか、③食堂を利用しましょう。
- (10) 昼食前と後に手洗い（手指消毒）をしましょう。
- (11) ~~中庭で食べる場合は、身体的距離を十分にとって食べましょう。（対面しない）~~

- (12) 食堂を利用する場合は、食堂以外で購入したものを持ち込むことはできません。
- ☆ 清潔な環境を保つ中で、学年毎にゴミ箱を廊下に設置します。但し、感染防止のため、マスクや昼食で発生した各自のゴミは携帯用ゴミ袋(レジ袋等)に入れて持ち帰り、自宅で処分して下さい。なお、食堂のテイクアウト商品のパッケージについては、中学生・高校生ともに食堂のゴミ箱に入れてください。ご協力をお願いいたします。

#### 〈クラブ活動に関すること〉

- (13) 活動前と後に手洗い(手指消毒)をしましょう。
- (14) 体調管理を徹底し、体調が万全でない場合は参加を見合わせ、自宅で休養するようにしましょう。
- (15) いつも以上に怪我等の防止に十分留意するようにしましょう。顧問だけに任せるのではなく、部員の健康・安全の確保のため、顧問とともに全員が学校生活ガイドラインに準拠して活動ができているか確認するようにしましょう。
- (16) マイボトルでの水分補給を心掛けましょう。
- (17) 体育館など屋内で実施する必要がある場合は、こまめな換気や、長時間の利用を避け、十分な身体的距離を確保することを心掛けましょう。
- (18) 部室等を利用する場合は、短時間・少人数の利用を心掛けましょう。

#### 〈その他の重要な事柄に関すること〉

- (19) 学校で急に体調の変化があった場合は、担任・保健室に報告し、自宅に帰り、休養をしましょう。
- (20) 学校生活で何か不安を感じたら、一人で悩まずに担任・顧問・保健室などに相談して不安を少しでも軽減して学校生活を送るようにしましょう。

### ⑤ 正しい情報の把握

学校からの連絡はHP・高校生 Teams・中学生 Classroom を利用して伝達します。毎日、時間を決めて学校のHPを確認して下さい。その他にも新型コロナウイルス感染症に関する情報や、それに伴う日本や世界の動きに関心を持ち、「新聞」「ニュース番組」などを通して、正しい情報を把握することを心掛けて下さい。

文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を参照し作成